

第13回 戦争社会学研究会大会

2022年 4月23日(土)～24日(日) オンライン開催

大会一日目

■ 10:30-10:35 開会・注意事項

■ 個人報告 司会: 四條知恵(広島市立大学)

10:35-11:15 「広島における『先輩』慰霊の形成と展開: 原爆関連慰霊行事の通時的分析」 渡壁晃(関西学院大学大学院)

11:15-11:55 「戦災と社会階層」 渡邊勉(関西学院大学)

== 休憩 ==

■ 13:30-17:40 シリーズ「戦争と社会」刊行記念シンポジウム 「『戦争と社会』という問いをめぐる」

司会: 山本昭宏(神戸市外国語大学)

評者: サビーネ・フリーシュトゥック(カリフォルニア大学サンタバーバラ校): 柳原伸洋「戦争と文化—戦後ドイツの子供文化に日本を照らして」の評者

稲葉奈々子(上智大学): 大野光明「反暴力の現在—ポスト冷戦・『新しい戦争』・ネオリベラリズムのなかの日本の反戦・平和運動」の評者

成田龍一(日本女子大学名誉教授): 序文及び野上元・佐藤文香「総説 「戦争と社会」、「軍事と社会」をめぐる問い」の評者

著者: 柳原伸洋(東京女子大学)

大野光明(滋賀県立大学)

野上元(筑波大学)

■ 18:00-18:30 総会

大会二日目

■ 10:30-10:35 開会・注意事項

■ 個人報告 司会: 松田ヒロ子(神戸学院大学)

10:35-11:15 「自衛官たちの目に映る『一般社会』を考察する: ポストモダン・ミリタリーとしての自衛隊という視点から」 児玉谷レミ(一橋大学大学院)

11:15-11:55 「英領香港の『重光記念日』に関する歴史社会学的考察: 『日本』に着目して」 銭俊華(東京大学大学院)

== 休憩 ==

■ 13:30-17:00 テーマセッション 「軍事と環境」

(共催: 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「軍事化が島嶼に及ぼす影響の比較研究——琉球弧、グアム、マーシャル諸島」

研究課題/領域番号: 20H01573 研究代表者: 朝井志歩)

司会: 浜井和史(帝京大学)

報告者: 朝井志歩(愛媛大学)「馬毛島での米軍のFCLP施設建設計画の経緯と問題点」

森啓輔(専修大学)「沖縄における有機フッ素化合物汚染をめぐる法・政治行政過程・社会運動の現在」

竹峰誠一郎(明星大学)「『われらみなヒバクシャ』なのか: 核と環境問題を結んで」

討論者: 池上大祐(琉球大学)

長島怜央(東京成徳大学)

■ 17:00 閉会

◆参加費: Pass Marketにてデジタル・チケットをご購入ください。 <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/027tqnagei821.html>

*詳細は「戦争社会学研究会」HPをご覧ください。 <https://scholars-net.com/ssw/>

*問い合わせ先 戦争社会学研究会事務局宛(ssw.adm@gmail.com)。